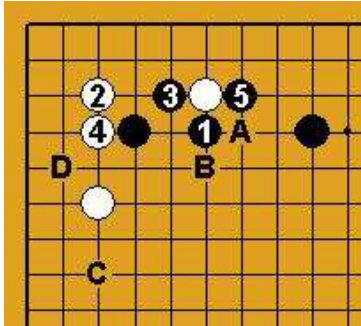
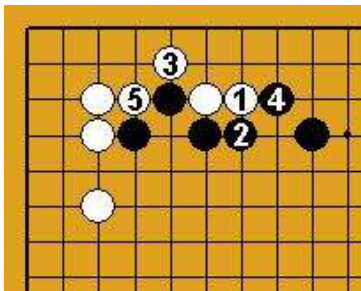


ケイマ両ガカリ8



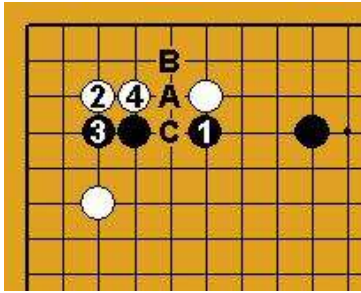
基本図8

そこで白としては図のように単に②と三々に入るのが近年打たれるようになりました。もし③④⑤となるなら、前回の基本図7と較べてこれは白がずいぶん得です。ABの交換がないこと、Cツメがキカないこと（Bに石がないのでDオキが成立しない）です。これはあまりに白の注文通りなので黒としては⑤は手抜きして他の大場に向かうことも考えられます。



変化図8-1

変化図8-1の①と動き出してくれば⑥でまた手を抜くのです。しかしまあそこまで意地を張らずとも基本図8は打たなければよいのです。



基本図9

基本図9の③と今度はこちらからオサエればよいのです。前回の基本図7とは事情が変わってきたのです。黒はこのあとABCのフリツギで打つか、Cポー
ツギで打つかの選択があります。このあとの進行が
「両ガカリの近代定石」と言ってもよいでしょう。